

## 令和2年度 第1回宇和島市水道事業経営審議会

令和2年度の経営審議会は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、委員を招集せず、書面による実施となりました。

各委員に審議資料を送付のうえ、意見を集約しました。

開催日時 (資料発送日)	令和3年2月16日
開催方法	書面開催
定足数 (意見書の集約数)	定数10名中10名より意見書の返送
議 題	① 平成31年度決算の状況と収益収支の見込みについて ② 宇和島市水道事業経営戦略の見直しについて ③ 第7次整備事業について
議事(説明事項)の概要	
<b>① 平成31年度決算の状況と収益収支の見込みについて</b>  平成31年度の決算は、前年度と比べ、給水戸数・人口は減少する一方、有収水量・有収率は増加しています。 当年度純利益は、3億4,067万6千円(前年度比1億296万8千円の増益)となり、災害の影響を大きく受けた前年度と比べると、数値は回復しています。 令和2年度以降、給水人口及び給水収益の減少傾向が続きますが、令和3年度から4年度にかけて減価償却費が大きく減少すること、また令和2年度以降は退職者が少数に留まることなどから、純利益の落ち込みは抑えられると見込んでいます。	
<b>② 宇和島市水道事業経営戦略の見直しについて</b>  宇和島市水道局においては、平成29年度から平成35年度(令和5年度)までの7年間を実施期間とした「宇和島市水道事業経営戦略(以下、経営戦略)」を、平成29年3月に策定し、経営戦略で定めた目標値が、中期的な経営指針となっております。	

次期経営戦略の大幅な更新時期につきましては、南予水道企業団を軸とした広域化協議や、令和6年度以降の水道整備計画立案にかかる基本計画策定の目途がつく、令和5年度頃を見込んでおります。

ただし、当初の経営戦略策定期間からは、約4年が経過していることから、平成31年度までの決算値をもとに、財政計画の一部見直しや事業進捗状況の検証など、今回、局所的な見直しを行いました。

### ③ 第7次整備事業について

- 平成21～31年までの実績：4,670百万円

  - 施設整備費用：2,437百万円

    - (水源・浄水施設の更新、耐震性貯水槽などの地震対策関連の整備)

  - 管路整備費用：3,860百万円

    - (62.7kmの更新整備)

- 令和2年度の実施状況

  - 施設整備費用：483百万円

    - (柿原浄水場の水処理施設の更新工事、土石流対策工事)

  - 管路整備費用：388百万円

    - (約2.8kmの更新)

- 令和3年度の事業計画（令和2年度繰越事業費含む）

  - 施設整備費用：1,550百万円

    - (宮下浄水場施設更新や柿原浄水場の活性炭注入設備更新など)

  - 管路整備費用：922百万円

    - (約11.6km更新予定)

- 令和4年度以降の事業計画

  - 施設整備費用：200百万円

  - 管路整備費用：1,168百万円

    - (老朽化した施設や管路を更新予定)

※ 第7次整備事業：平成21年から令和5年までの15年間 総事業費110億円